

■会員 Now

日本興亜損害保険株式会社と環境問題への取組み

公務部開発チーム 郷原 文明

会社概要

当社は特定のグループに属さない独立系の総合損害保険会社として、グループの枠組みにとらわれない戦略的な提携等を展開し、お客様サービスの向上を図っています。

専門知識と業務経験に富んだプロ代理店、都市銀行・地方銀行を中心とする金融機関との協力関係、運輸業各社との取引関係等を独自の営業基盤としています。

- 創業：明治25年（1892年）
 - 資本金：912億円
 - 総資産：3兆4,777億円
 - 正味収入保険料：7,083億円（平成17年度）
 - 本社所在地：東京都千代田区霞ヶ関3丁目7番3号
 - 社員数：8,249名
 - 代理店数：国内37,488店、海外6店
 - 営業拠点：国内268か所、海外25か所
 - 損害サービス拠点：180か所
- （平成18年4月1日現在）

環境への取組

広く環境問題に関わっていくことは企業の社会的責任であるとして、「環境方針」を定め以下のような取組を行っています。

- ①平成17年には当社の全国組織でISO14001の認証を取得しています。
- ②保険商品にISO14001認証取得割引を導入するなど保険会社ならではの「本業を通じた環境に有益な取組」となる保険商品・サービスの開発・提供に注力しています。
- ③資産運用部門の投融資活動においても、環境に配慮した社会的責任投資（SRI）活動を重点的に実施しています。
- ④林野庁の「法人の森林」分収育林制度を利用して長野県諏訪郡富士見町の八ヶ岳山麓に「日本興亜の森林（もり）」を運営しています。

- ⑤本年5月秋田に開設した金融・保険業界最大規模のコールセンターは、各種の環境配慮が施されていますが、駐車場内に小型風力・太陽光発電機を設置し、駐車場の照明用電力の一部を賄っています。（写真）

この発電機は、サボニウス型風車（20W）と太陽電池モジュール（80W×2ユニット）からなるハイブリッド型で、12WのLED灯を日没後10時間点灯する能力があります。



【ご参考】CSR報告書の公開

当社の環境問題への取組とCSR活動をまとめた報告書をホームページ上で公開しています。

[\(URL:http://www.nipponkoa.co.jp/\)](http://www.nipponkoa.co.jp/)

風力発電施設総合損害保険制度

昨年10月よりJWPA会員である風力発電事業者向けの「風力発電施設総合損害保険制度」を創設し、募集をしています。

団体契約とすることで単独で契約するよりも補償面、保険料面で魅力のある保険商品の提供ならびに長期安定的な補償の確保を目指しています。

既にご加入いただいた会員のみなさまからも大変好評を博しています。今後のご加入をお願い申し上げます。

あなたを全力で支える。



日本興亜損保